

報恩寺だより

昭和58年3月20日

神奈川県綾瀬市寺尾南2-10-1

おたすけ観音 報恩寺

電話 0467-78-7160

◎開山忌、大般若祈禱会勤修について

御開山、朝岩存夙大和尚の報恩法要と、17日はおたすけ観音の縁日です
で、大般若祈禱会を次により行ないますので御参詣下さい。

記

1. 期 日 4月17日(日)

2. 日 程 午後1時 開山忌法要

午後1時半 大般若祈禱会

午後2時~3時 法話 阿部圭佑老師(大井町大通寺住職)

午後3時 小斎

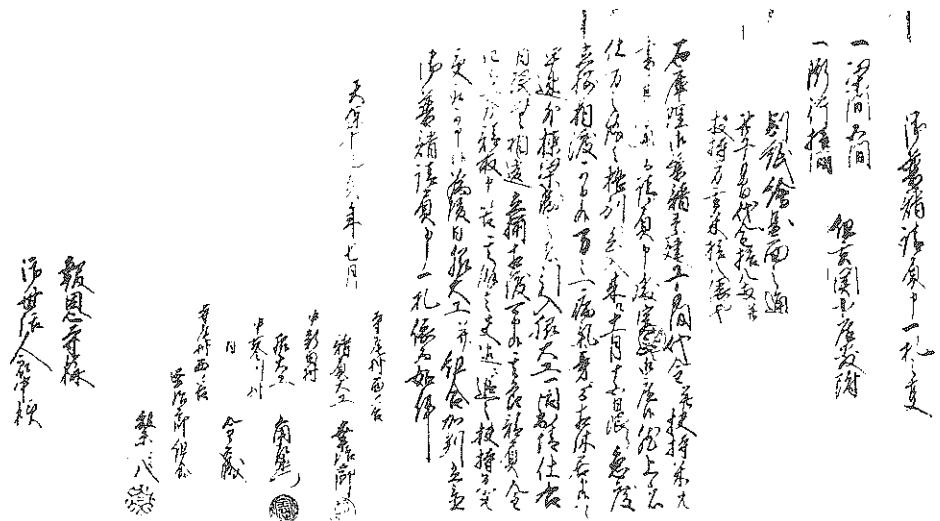
・香資(2,000円)は当日御志納お願ひいたしたく存じます。

◎敬う気持を大事にしよう。人はみな佛の子。

修證義に「深く佛法僧の三宝を敬ひ奉るべし、生をかえても三宝を供養し敬
ひ奉らんことを願うべし。」と記されています。佛教を修行するには三宝を敬
う事が大切であると云う事です。佛はお釈迦様等の佛様であり、法は經典に書
かれている教へであり、僧は佛教を修行する人達の集りを云います。

お釈迦様の教へは「人はみな佛の子」の人間觀に貫かれています。人はだれ
でも修行すれば、佛様になれる可能性を持っていますので、人はたがいに相手
を敬い畏れ愛する心情を持たなければなりません。毎朝佛壇におまいりし、合
掌して食事をいたゞくと云う敬虔な作法によって、いつか尊ぶべきものを尊ぶ
敬虔な情操が養れます。

◎庫裡建築費18両(報恩寺古文書)



天保 10 年 (1839) の工事請負契約書です。五間×十間、五十坪の庫裡を二年四ヶ月の工期で、18両と玄米18俵の工費で作ると云う契約書です。

材料費は別と考へられますが、請負額が少ない様で、大工さんは大変だった事でしょう。別の報恩寺古文書に、大本山総持寺への報恩寺の寄付金が記されていますが、10両でした。

◎特別御寄進

次の方々から特別御寄進を頂きました。各位の御芳志に感謝すると共に、供養菩提の御冥福をお祈りいたします。

武 藤 雄 司	森 山 茂	小 山 田 重 雄	奥 津 好 枝
柏 木 行 雄	山 下 格	近 藤 勇	笠 川 間 二
早 川 高 義	橋 川 裕	黒 沢 清	川 上 良
早 川 照 由	山 口 悅	大 塚 男	山 口 誠
近 藤 喜 一	山 下 功	中 藤 み	笠 三 志
加 藤 元 治	梅 田 雄	森 西 直	早 森 駿
笠 間 昭 和	早 川 セ	笠 山 貞	森 戸 雄
山 口 静 雄	高 岛 新	黒 川 貞	井 田 正
和 田 尚 樹	小 山 夏	早 川 ミ	川 治 三